
眩暈、、、

たま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

眩暈、、、

【Nコード】

N6509K

【作者名】

たま

【あらすじ】

鬼塚ちひろさんの曲で「眩暈」を元に少し淡くて不器用な感情を、、、

・・・貴方の声で

私を安心させて？

この感情に名前を付けるとしたら、、、

（前書き）

鬼塚ちひろさんの眩暈という曲の歌詞と、私の恋愛観を描いてみました

なので鬼塚さんのこの曲はそういう意味じゃないのという意見をおもちのかたはあまり見ないことをお勧めします

私なりの解釈と私の浅い恋愛観なのでそのあたりは生温かい目線を送ってやってください

貴方との思い出が消えて無いものになってしまつのを怯えていつも泣いていた

でも、思い出すのも酷く怖いの

「ねえ、昔の私。

私はイマ、上手に笑えている？」

でも、今だけは

貴方のひざにもたれて眠りにつきたいの

1つの願いを胸に秘めながら

、悪魔が私たちを引き裂きませんように、

と、、ただ願い眠るの

「ねえ、貴方の声で私を安心させて。」

私にもう一度だけ

「もう大丈夫だよ。」

と、貴方の声でささやいてくれる？

そうしないよね

自分が自分で無くなってしまいそうだから

何度と自分で大丈夫と言い聞かしても駄目なの

貴方じゃないと信じられないの

だって

貴方は嘘のように私を

強く強く 信じてくれていたから

今でも思い浮かぶのは

貴方の腕が 声が 背中がそばにあったということ

あの時の乾いた私の心に

貴方という潤いが打ちつけたの

本当は嬉しかったの

私の存在に誰かが入ってくるのが

でも、その時の私は逃げ出そうとした

、逃げることなどできない、

だって、、

貴方はどこまでも追って来るって

泣きたいほどに分かっているから

分かってしまう程に

私は貴方に溺れてしまっていたから

初めての優しさは

貴方に貰い

初めての愛しさは

貴方を感じ

初めて抱いたこの感情に

名前を付けてみた

”眩暈”

貴方と私を引き裂かないでという願いを

今だけ叶えてほしい

闇が私たちを覆う前に

そつと2人で

「大丈夫だよ」

と言つて瞳を瞑り眠りにつきたいから

- - - 貴方の優しさに眩暈がした

私の中に貴方という存在が入り込んできたことで
私を取り巻く景色が目まぐるしく回り始めた
だからこの感情を私は
”眩暈”と呼ぶの、、、。

T h a n k s , , ,

S o n g B Y O n i z u k a C h i h i r o

- - - E N D - - -

（後書き）

久しぶりのうpです

この眩暈という曲にひかれてつい書いてしまいました

本当にこんな文才のないやつが書いてしまったすみませんでした
本当に申し訳ないです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6509k/>

眩暈、、、

2010年10月11日05時47分発行